

竹のデザイン・フィンランド+日本展 - 地球環境とデザイン -

井生文隆

Bamboo Design・Finland+Japan Exhibition - Environment of The Earth and Design -

Fumitaka Ito

Summary

This describes about the Product Design Exhibition named "Bamboo Design・Finland+Japan" as the theme to keep the beautiful forests by proposal of products using the bamboo that has destroyed and has had a strong influence for forests.

1.開催趣旨

新世紀を迎えた社会は、「人」と「モノ」と「環境」の関係を、価値の向上と持続性をもって融合させたデザインが大事であると考えている。個々の製品に見る日本のデザインは完成度が高いと言われているが、生活空間の中で有機的にどう関わって相乗的な効果を発揮するか、存在の必然性を追求し全体の調和と調整に意を尽くす余地を残している。そのような状況を鑑みるに、自然と暮らしとデザインが一体化しているフィンランドには学ぶものが多くあると考える。この展覧会は、フィンランドの作家と共に以前より継続している「地球環境とデザイン」をテーマとした活動の新たな展開として、「竹のデザイン・フィンランド+日本」展という企画で開催するものである。

自然界では竹林が里山を侵食しつつあり、さらに奥のほうまで広がって、森林の生態系にも影響を及ぼすことが懸念されている。森の環境保全と密接な関わりを持つ『竹』を、生活用品などに有効に利用すれば、里山と森の保全につながるという「地球環境とデザイン」をテーマとし、竹を素材としたデザインで表現し、制作を行った成果を発表するものである。

竹が存在しないフィンランドの竹に興味を持ち環境に関心の深い作家と共に、新鮮な視点のデザインの竹作品を仲立ちとして、国を超え生活と自然環境を共に考える文化の交流の場になればと考える。そ

して展覧会及び展示作品の成果により「萩の竹」のパブリシティと竹を素材とした新製品開発への貢献を狙っている。

2.萩の竹

山口県萩地方に多くある竹を素材とした、新たな事業展開、就業機会の増加等を目標に、平成14年10月に、萩商工会議所が主導して萩市、関係団体等で有限責任中間法人萩の竹ブランド化推進協議会（理事長：萩商工会議所会頭、社員15名）を組織化した。同中間法人の顧問には、萩市長、萩阿武選出の3県議会議員が就任し、また技術参与として山口県立大学の教授が参画している。同中間法人では、山口県立大学に研究を委託しており、テーマは、(1) 筍の氷温貯蔵、(2) 竹の容器及びパッケージ製作、(3) 竹紙の製作、(4) 竹を素材とした新たな製品開発の4テーマで、現在、研究・開発が進行中である。

この展覧会は、「竹を素材とした新たな製品開発」というテーマの成果として、山口県立大学、京都嵯峨芸術大学、フィンランドの作家、そして学生等が製作した竹を素材とした作品の展覧会である。

3. 展覧会概略

- 1) 名称 : "竹のデザイン展・フィンランド+日本"
- 2) 日時 : 2003年10月11日～10月19日
- 3) 場所 : 萩ケーブルネットワーク (株) 2階
ギャラリースペース (山口県萩市)
- 4) 入場料 : 無料
- 5) 展示内容 : 竹を素材としたクラフト作品 (照明器具、インテリア用品など)
- 6) 主催 : 萩の竹ブランド化推進協議会、山口県立大学地域共同研究センター、山口県中小企業団体中央会、「竹のデザイン・フィンランド+日本」実行委員会
- 7) 後援 : フィンランド大使館、関西日本フィンランド協会、(社) 日本インダストリアルデザイナー協会、(社) 日本インテリアデザイナー協会、日本デザインソサエティ、萩商工会議所、ヘイノラ大学 (フィンランド)、京都嵯峨芸術大学、山口県立大学

8) 作品出展者:

・筆者

山口県立大学環境デザイン学科助教授、university of Art and Design Helsinki (1996年8月～1997年6月)、1997年6月UIAHギャラリー (Helsinki) にて『R-aalto』展開催

・金氏脩介

京都嵯峨芸術大学教授、Lahti Institute of Design (1996年3月～1997年4月)、1997年4月Lahti市「オスカリン・ピーハギャラリーにて『プー・リントウ (木の鳥)』展開催

・ハンヌ・カホネン

フィンランドを代表するインダストリアルデザイナー、2001年プロフィニッシュデザイン賞受賞など多数。

・ヘレナ・レフティネン

クラフトデザイナー、展覧会及び受賞など多数

・ルディ・メルツ

クラフトデザイナー、フィスカース工芸村で活躍する木工家

・ソニー・ナカイ

グラフィックデザイナー、EUの組織のETOのロゴのコンペでグランプリ受賞

・マルック・トンティラ

クラフトデザイナー、プロ・ウッド協会代表、展覧会及びコンペ受賞など多数

・学生作品

フィンランドのヘイノラ大学家具工芸デザイン学科、京都嵯峨芸術大学芸術学部観光デザイン

学科、山口県立大学生生活科学部環境デザイン学科の学生による「竹のデザイン作品」の交流展も併設する。

9) 記念セミナー

- ・日時 : 10月10日 (金) 午後4時～5時
- ・会場 : 国際観光旅館・萩本陣1階「葵の間」
- ・演題 : フィンランドの暮らし・環境・デザイン
- ・講師 : ハンヌ・カホネン氏
- ・プロフィール : フィンランドを代表するインダストリアル・デザイナー。デザイン事務所Creadesignを主宰。1974年に「インダストリアル・デザイン国家賞」1992年「フィンランド・デザイン・オブ・ザ・イヤー」2001年には「プロフィニッシュデザイン賞」を受賞。ヘルシンキ市のトラム (市電)、ABLOY 社の錠、TriceChair、EXEL社のストックなど、さまざまな著名な作品を手がける。

4. 研究の目的・成果

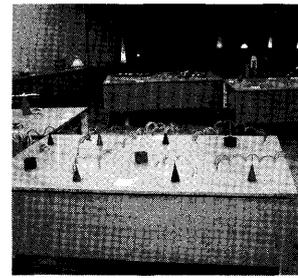
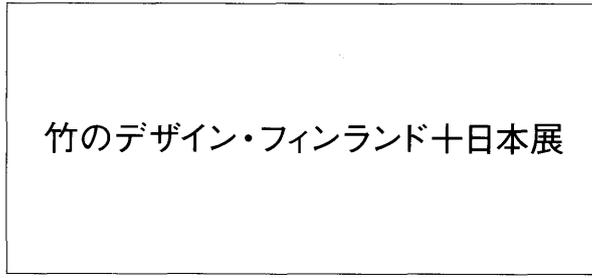
- 1) 竹のデザイン・フィンランド+日本展 in Finland
フィンランドのフィスカースにあるクパリパヤ・ギャラリーにて2004年1月15日～4月1日の期間開催し、そのことで日本の竹に関する文化、暮らしなどを核として、フィンランドとの交流による相互理解を深め、デザインからのアプローチによる地球環境への貢献を追究する。
- 2) フィンランドを始めとした様々な交流により、更にデザインを練磨させ、デザインの実験及び試作、研究を重ねて、目標とする成果の具現化を達成する。
- 3) 竹が存在しないフィンランドの環境に関心の深い作家と共に、活動を継続し、その新鮮な視点のデザインの竹作品を仲立ちとして、生活と自然環境を共に考える文化の交流を図る。
- 4) 山口県立大学環境デザイン学科、京都嵯峨芸術大学観光デザイン学科およびフィンランドヘイノラ工芸大学クラフトデザイン学科学生により「竹」を素材とした作品により、「地球環境とデザイン」をテーマとした国際文化交流活動、研究、教育への展開を推進する。
- 5) 地域との関わりのデザインを追究することにより、成果をglobal & glocalなデザインの実践として山口県立大学や萩の竹などのパブリシティの拡大を図る。また、地域の産業の活性化の一翼を担えることを探る。

謝 辞

有限責任中間法人萩の竹ブランド化推進協議会そして萩商工会議所ならびに関係する方々、京都嵯峨芸術大学の金氏脩介教授、Sonny・Nakaiさん、Hannu・Kahonenさん、Marukku・Tonttilaさん、Rudi・Merzさん、Helena・Lehtinenさん、Pekka Blomsterさん、岡崎木材工業（株）岡崎雄一郎さんならびにスタッフの方々、平井製簾所平井恒夫さん、（有）南工業所南宗憲さんなど、多くの方々には重要な示唆や協力をいただきました。記して感謝を致します。



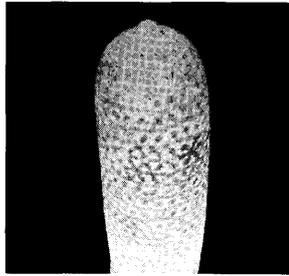
● 展示会場エントランス



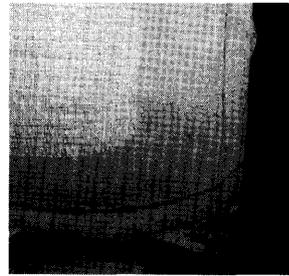
● 展示会場



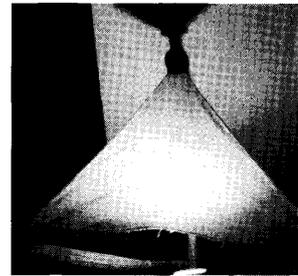
● 竹積層合板による家具 (筆者)



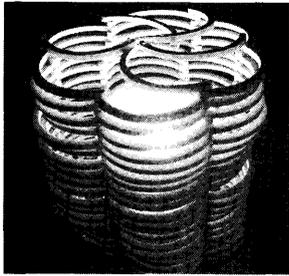
● 竹紙による照明器具 (筆者)



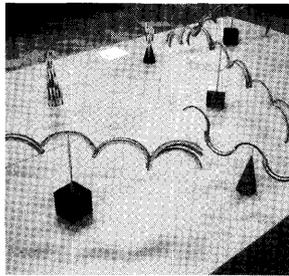
● 竹布による照明器具 (筆者)



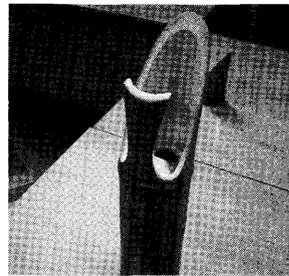
● 竹布による照明器具 (筆者)



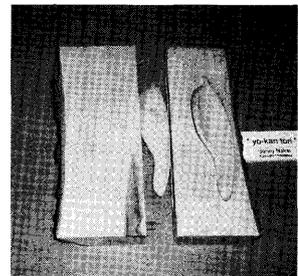
● 竹材による照明器具 (金氏脩介)



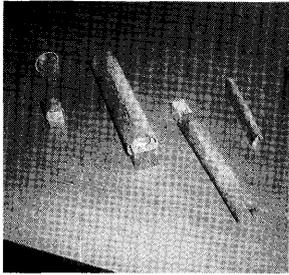
● 竹材による玩具 (金氏脩介)



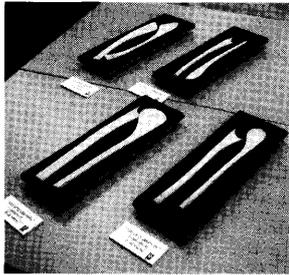
● 竹材によるサウナ用具 (ハンヌ・カホネン)



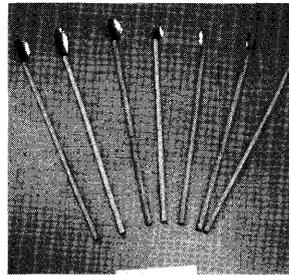
● 竹と白樺材によるテーブルウェア (ソニー・ナカイ)



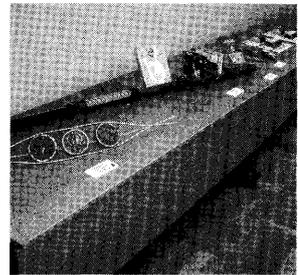
● 竹と白樺材における収納具 (マルック・トンティラ)



● 竹によるテーブルウェア (ルディ・メルツ)



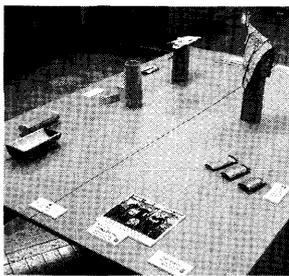
● 竹材と銀によるテーブルウェア (ヘレナ・レフティネン)



● 竹材による学生作品 (山口県立大学)



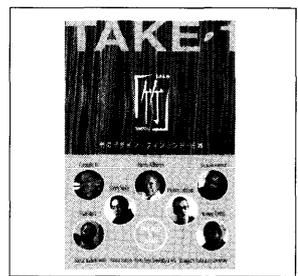
● 竹材による学生作品 (京都嵯峨芸術大学)



● 竹材による学生作品 (ハイノラ大学)



● トライアル展案内状 (筆者デザイン)



● 展示会ポスター (筆者デザイン)